

2017年12月15日

江南市長 澤田 和延様

2018年度 予算要望書

日本共産党江南市議員団

森 ケイ子

東 義喜

掛布 まち子

今年7月から8月にかけて、市政アンケートを実施しました。(別紙参照)
日々の暮らしの中で体験し、感じておられる皆さんの思いがびっしりと書き込まれています。こうした市民の皆さんの思いを中心に要望書にとりまとめました。

アンケートの中で最も多かった要望は、公共交通網の整備で、回答者の50%に及びます。自由意見の欄では、高齢化の中で通院や買い物に不自由している皆さんの声が切々とつづられています。

また子育て支援や治水、歩行者に優しい道路の整備を望む声、介護保険料や国保税の負担が日常生活を圧迫している切実な訴えもあります。

予算編成も大詰めのことと思いますが、以下の諸点について新年度予算に反映していただくようよろしくお願いいたします。

1. 市民の積極的な社会参加、健康増進や通院・買い物のために必要な地域に密着した公共交通網を整備すること
 - そのために、市民の交通手段は「充足している」の考え方をやめること。
 - 住民参加で、公共交通網の整備について本格的な検討を進めること。
 - 免許証自主返納者への奨励制度として、運転経歴証明書発行手数料の助成を4月から実施すること。
2. 「子育て先進都市」の名に相応しい、子育て支援策を推進すること。
 - 1) 学童保育について
 - 学童保育料の再引き上げをストップすること。
 - 一人親家庭、多子世帯、非課税世帯等に対する減免規定を充実させること。
 - 長期休暇のみ利用の利用料は、日割り計算を原則とすること。
 - 学童保育の基準を改定し、希望者は利用できるようにすること
 - 外遊びもできない古北学童保育について、学校敷地内等に学童保育室を建設するなど早急に改善をはかること。
 - 2) 保育園について
 - 第八次行政改革大綱(案)に述べられている保育園の民営化は行わないこと

- 病児、病後児保育を実施できるよう市内の医療機関に協力を要請すること。
 - 市内で1園、休日保育を実施すること。
 - 保育園給食の米飯の自園炊飯を実施、自園給食を堅持すること。
 - 一人親家庭の延長保育料は免除すること
- 3) インフルエンザワクチンの助成について
- 子どもは2回接種なので負担も大きく、流行するとクラス全体に広がるため、江南市として近隣に先駆けて実施すること。
3. 子供たちがのびのびと学ぶことのできる教育環境の整備を。
- 異常気象の中で授業中に気分が悪くなって保健室に行く子どもが増えているなか「小中学校へのエアコンの設置」は緊急課題です。計画を立て、可能なところから実施すること。
 - 学校のトイレの洋式化を計画的に進めること。
 - 老朽化が著しい南部・北部学校給食センターについて、1カ所9000食にもなる大規模化や、民間委託の方針を見直し、きめ細かな食育、アレルギー対応、安心安全な学校給食を追求すること
 - 学校給食費の無償化を追求し、当面第2子以降を減免すること
 - 先生の多忙化解消のため、部活動に外部コーチや講師の採用、学校事務職員を増員すること
 - 特別支援学級及び通常学級の発達障がい児の支援のため支援員を増員すること
 - 学校教職員の駐車場使用料の徴収をやめること。
4. 新図書館建設について
- 新図書館の建設を望む声が高まっています。早急に市民参加による新図書館検討委員会（仮称）等を設置すること
 - 基本計画の策定に当たっては、図書館フォーラムの開催など市民が参加できる機会を数多く持つこと
5. 市街地の公園整備について
- 生産緑地解除後の農地や、空き地を積極的に買い上げるか定期借地などを活用して確保し、不足している市街地の公園を確保すること。
6. 公共施設の使用料有料化に伴う諸問題について
- 2時間単位の利用区分を1時間単位とすること。
 - 福祉団体や障がい者の利用については減免制度を設けること。
 - パークゴルフは、年間パスポート制を認めること。
 - 福祉センター、ふれあい会館の入浴料の割引回数券などを発行すること。

- 利用者アンケートを実施し、5年後の見直しではなく必要に応じて見直しを進めること
- ふれあい会館3階競技場のエアコン使用料は無料とすること
(アンケートより…ふれあい会館の暑さはとんでもない。エアコンが自由に使えない。なぜ3階だけ料金を取るのか)

7. 介護の充実と負担軽減

- 新たに要支援の認定を受けた人も従来のデイサービスやヘルパー支援を保障すること。
- 介護保険の保険料算定に当たっては、基金の活用及び所得階層を現行の10段階から12段階等に増やし、低額所得者の負担軽減に努めること。
- 地域の公会堂を開放したり、空き家を改修するなどして、高齢者の居場所づくりを、進めること。
- 健康づくりや、地域サロンのリーダー講習やボランティアの育成を進めること
(アンケートより…高齢者が自由に集まれる場所がほしい。ふれあいサロン、健康体操などもっと積極的に取り入れ、健康都市を目指してほしい)

8. 国民健康保険税の負担軽減について

- 県単位化に際し、国保税の値上げを押さえるために、法定外繰り入れを継続すること。
- 国保税の均等割に中学生以下の子どもは含めないこと。

9. 地元の中小零細業者支援と農業支援について

- 小規模企業振興条例を制定すること
- 住宅リフォーム助成制度を復活すること
- 生産者や農協、商工会議所とも連携して、常設の農産物販売所を設置すること

10. 治水対策について

- 治水対策は、「流出抑制」の考え方を徹底し、道路面の雨水を集めて浸透させる「道路浸透ます」や、集合住宅や店舗・工場などに雨水浸透ますの設置をもっと積極的に進めること
- 日光川上流域の浸水被害を軽減するため、河川の整備を求めるとともに、最上流部に調整池の設置を県に求めること
- 耕作放棄地などを地主の協力を得て、豪雨時の雨水貯留池として整備し、浸水被害の軽減を図ること

11. 資源ゴミの収集体制について

- ペットボトルや、ビン・カン、プラスチック製包装容器など曜日を決めて、生ゴミの収集ラインに乗せるよう抜本的な見直しを進めること

- 環境事業センターに設置した資源ゴミリサイクルステーションを、旧清掃事務所跡、及び市内南部地域に設置すること
- 1 2. 布袋駅東複合公共施設整備事業について
- 布袋駅東開発は、PPP 手法により、民間資金を投入して複合公共施設整備を行おうとするものですが、現在でも用地取得の目処が立たず、また布袋駅周辺（駅から半径 800 m 圏内）の人口密度は、34.01 人/ha と扶桑や柏森周辺よりも低く、開発によって人口が大きく伸びる見通しはありません。民間事業者による開発には極めてリスクが高いといわざるを得ません。布袋駅東の開発については見直しを検討すること
- 1 3. 人に優しい道路行政を
- 江南通り線（市役所南）の歩道の整備を始め、歩道の段差の解消を行い、車いすでも安心して通行できる人に優しい道づくりを推進すること。
 - 駐輪場の有料化は行わないこと
- 1 4. 国際平和都市宣言に相応しい平和行政の推進を
- 小学生の広島派遣は、1 校複数人とし、報告会を行うこと
 - 世界平和を願うパネル展は、被爆者や市民も参加した企画・運営とすること
 - 市役所などに「ヒバクシャ国際署名」を置き、市民に署名を呼びかけること。
- 1 5. 公契約条例を制定すること
- 1 6. 第八次行政改革大綱（案）の方針にある窓口業務の民間委託を行わないこと